

コンソーシアム起ち上げ

『日本を健康にする!』研究会」2月に発足

メーカー発信の健康・栄養食品の情報を、
栄養士・管理栄養士を通し消費者に発信

国民医療費が34兆円超え(平成20年度・厚生労働省発表)と膨れ上がる中、国の政策とは別に民間のサポートが必要とされている。そうした中、

管理栄養士・栄養士による消費者向けの情報発信Webサイトを軸に、消費者の健康維持・改善に

関与すると同時にセミナー・イベントを多数開催することで健康・栄養食品メーカーと消費者の架け橋となる『日本を健康にする!』研究会が2月1日に発足する。

研究会ではメーカー、栄養士・管理栄養士が会員となり消費者もそこに参加する形で、業界情報や各メーカーの商品情報を栄養士が媒介となって消費者に深めていく。

会長に東京海洋大学大学院の矢澤一良教授、副会長に名古屋大学の大澤俊彦教授が就任する(大澤氏は今年4月から愛知学院大学に移籍予定)。運

営に関する事務局はRDサポート(東京都千代田区、03-5217-5561)となる。

現在、社団法人の日本栄養士会にも後援してもらおう方向で話が進んでいるという。

研究会のテーマとしては3つある。

共同研究・商品開発▼
メーカーの新たな製品開発、及びメニュー開発等における大学・研究機関の共同研究の心配や、管理栄養士とのコラボ企画を推進する。

販売促進・情報発信▼
消費者向け健康・栄養Q&Aサイト「MEAL PLAZA(略称・ミルプラ)」を運営し、消費者からの食に関する質問に管理栄養士が答えると共に、メーカーもここに介入できる(2月1日/版オープン)。また、消費者向けのセミナー・イベントを開催し健康情報を発信していく。

教育研修▼管理栄養士・栄養士及び食・健康

関連従事者向けのスキルアップセミナーを開催。

Webサイト「ミルプラ」は健康・栄養に関わるQ&Aと管理栄養士のコラムで構成されている。参画企業は初期の段階ではサイトを通しての情報発信という形での比較的軽い介入だが将来的にはEコマースにも対応できるような仕組みにする展望もあるようだ。今まで業界団体・メーカーで集まって情報交換を行う団体はあったが、メーカー・栄養士・消費者をつなげるコンソーシアムは例がなく、メーカー側にも研究会を通して消費者に対して啓発することを目的とする。

第1回の研究会及び懇親会が2月18日に開催。また2月27日には食・健康関連従事者向けのセミナーとして「スポーツ栄養学の基礎知識と指導時における実践的な運動法」を開催する。

研究会の年会費は企業一口5万円、個人一人

3000円、学生一人1000円。

今後、大々的に参加を

呼びかけていくと共に、関連団体に対しても協力要請をしていく考え。